

株式会社大阪繊維リソースセンターの解散・清算について

【㈱大阪繊維リソースセンターの現状】 参考資料 1 及び参考資料 2

- ・ 同社は、平成 20 年のリーマンショック以来、売上げが急速に減少し、22 年度：7300 万円の赤字、債務超過額 1 億 4700 万円、23 年度：13 億 2400 万円の赤字、債務超過額 14 億 7100 万円となるなど、厳しい経営状況が続いている。（23 年度は建物の減損損失 12 億 6500 万円を計上）
- ・ このため、府への借入金返済が困難となり、約 19 億 3300 万円の債務返済の見通しが立たない状況である。

【会社の方針】

- 6 月 15 日に臨時株主総会を召集し、解散決議を行なう。決議後、特別清算の手続きに入る。

【府の対応方針】（案）

- ① 解散議案に賛成し、会社を法的整理する。
- ② リソースセンターが区分所有する建物は、泉大津市に売却し、売却代金は府貸付金の返済に充てる。
また、当該建物の府有部分も合わせて泉大津市に売却する。（売買条件は下記のとおり）
リソースセンターの建物を繊維産業の振興拠点（ホール機能や研修室機能など）として使用し続けることが、府のこれまでの出資等の理念を継承することにつながり、また、繊維事業者の要望にも応えることになる。
- ③ リソースセンターの全財産から回収した後、なお残る府の残債権は特別清算手続きの中で放棄し、清算手続きを終了させる。
- ④ 府は、引き続き、繊維産業支援策（産業振興策）を実施していく。

【泉大津市への売買条件等】

1 建物売却額	（リソース所有分）	3 億 7000 万円（税抜き 3 億 5200 万円）
	（府所有分）	4220 万円（税抜き 4020 万円）
	（合計）	4 億 1220 万円
2 地代	裁判所関与の手續によって決定する。	

【リソースセンター清算に伴う府の財政負担】

○出資金のき損額	5. 8 億円
○債権放棄見込額	約 15. 3 億円
	（19. 3 億円－（3. 5 億円＋0. 5 億円））
	建物価格 現金